

吉野川市総合教育会議会議録

招集年月日 令和5年1月27日（金）
 招集の場所 吉野川市役所東館3階231会議室
 開閉会日時 開会：令和5年1月27日午前10時24分
 閉会：令和5年1月27日午前11時20分

出席者 市長 原井 敬
 教育長 栗洲 敬司
 委員（教育長職務代理者） 熊代 雄一郎 委員 川村 徳子
 委員 栗原 奈麻美 委員 貞野 雅己
 委員 山口 奈美
 副市長 岡田 芳宏 政策監 山上 達也
 副教育長 馬郷 宏治 副教育長 阿部 敏和
 教育総務課長 小林 義典 学校教育課長 吉田 みずほ
 教育総務課係長 岸田 克也
 説明員 主幹教諭 森本 健太
 事務局 総務部次長 上田 哲也 総務課係長 三木 康敬

議題

- （１） 吉野川市立学校におけるICTの活用について
- （２） その他

【会議の経過】

総務部次長 ただ今から令和4年度吉野川市総合教育会議を始めさせていただきます。では、はじめに原井市長にご挨拶をお願いいたします。

市長 教育委員の方々におかれましては、先の定例教育委員会に引き続きまして総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、皆様には平素より本市行政各般にわたりまして、とりわけ教育行政について日々ご尽力いただいておりますことに、この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが発生してから3年が経過したところですが、特に学校現場での子ども達を取り巻く環境は以前に比べて変化してきていると思います。また、本日、新聞報道等でもあったように新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けが2類相当から5類相当へ引き下げられるよう最終調整に入ったようであります。

そういった中で、学校現場において急速に変わってきたのがICT教育であり、GIGAスクール構想による1人1台端末の配付等が行われ、ICT教育を推進していくということで学校の先生方については日々奮闘しているところでございます。

	本日は、鴨島小学校の森本主幹教諭からICT教育の現状についてお話をいただけるということですので、お話を聞いたうえ、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思います。 いずれにせよ、時代が急速に変わっていく中で、未来を担う子ども達の可能性を大きく引き出していく環境整備が求められていると思いますので、本日の会議が実り多きものとなるようご期待して私からの挨拶とさせていただきます。
総務部次長	それでは議事に移りたいと思いますが、議長については慣例により市長にお願いすることとしておりますので、よろしくお願いいたします。
市長	それでは、委員の皆様におかれましては、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。 では、早速議事に入りたいと思います。 (1)の「吉野川市立学校におけるICTの活用について」でございますが、教育委員会事務局から小学校におけるGIGAスクールの現状についてご説明いただけるとのことですので、よろしくお願いいたします。
教育委員会事務局	(森本主幹教諭から説明)
市長	ありがとうございました。 それでは、ただいまご説明いただいた内容について、各委員からご意見やご質問をいただきたいと思います。
川村委員	ICTを様々な場面で活用しているとお聞きしましたが、特にどういった教科に活用しているのでしょうか。
森本主幹教諭	国語や算数など基礎的な教科はもちろん、多岐に亘る教科において活用しています。特に社会などは、全国や世界について学ぶ際にはバーチャルでその場所に訪れてみるなどの活用をしています。
川村委員	90%の学校でデジタル教科書をほぼ毎日活用しているというのは、どの教科でも同じでしょうか。
森本主幹教諭	学校によっては、国語、算数や英語まで教師用の端末にデジタル教科書が入っているので、それぞれ活用して授業を行っています。
栞原委員	副読本があると思いますが、ICTの教材とはどのように使い分けているのでしょうか。
森本主幹教諭	デジタル版の副読本もあることから、両方とも活用しています。

栞原委員	書写などは実際に書いてみる必要があると思うが、総合的にどのように評価をしているのでしょうか。
森本主幹教諭	書写などの技能教科ですと、まずデジタルで字のバランスなどについて教えた後、次の授業では実際に紙に書くなどしています。
川村委員	1年生などの低学年にはどのように教えているのでしょうか。
森本主幹教諭	低学年については、まずは端末の電源の入れ方など、基本的な使用方法の習得から始めるなど発達段階に応じて進めています。
川村委員	先生は、それを1人で指導に当たっているのでしょうか。
森本主幹教諭	ICT支援員の協力を得たり、校内研修で学年に応じた指導内容を共用するなどしながら対応しています。
川村委員	1年生では、端末を家に持ち帰っても、使用の制限が多くて使えないということも聞いたことがあり、初歩の指導は難しいと思いますが、その点は大丈夫なののでしょうか。
森本主幹教諭	普段から自宅で機器に触れている子と触れていない子でスキルについて個人差はあると思います。しかし、基本となる端末の操作技術などのベースは揃えるようにしています。
市長	ICT支援員は、現状で2名の支援員が小中学校を巡回しているところですが、教育委員会から支援員の増員の要望もあるようなので、できる限り強化できるよう進めていきたいと思っています。
貞野委員	ICT教育は、子ども達の興味や関心を引き出すために非常に良いものだと思います。また、今までの授業では先生に当ててもらえないと発表できなかった意見が、端末を使って画面に映し出せば、自分の意見を皆に見てもらえる機会が増えると思いますので、勉強への意欲を更に引き出して欲しいと思います。
山口委員	紙媒体の教科書も活用されていると思いますが、ノートはどのように使っているのでしょうか。
森本主幹教諭	紙媒体で用意したワークシートやノートに書き込んだり、端末を使用したり、どの方法が最も効果的かを考えたうえ、それぞれ活用している状況です。
山口委員	子ども達から荷物が重いという意見もあり、全て端末でということに

	なれば紙媒体が不要になり、子ども達への負担も減るのではないかと思いますので、これからの課題とも思います。
熊代委員	他校とのオンライン交流は良い取組だと思います。 今後は、市外・県外の学校や、例えば修学旅行に行けなかった場合の観光地であるとか、更には民間企業などとの交流に発展させるなど、活用していった欲しいと思います。
森本主幹教諭	オンライン交流の記録は残っていくため、次の取組に繋げていけるようにしたいと思っております。
市長	他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。 森本先生、ありがとうございます。 それでは、引き続き、先ほどの説明等を踏まえたうえ、ICT教育全般について各委員からご意見等をいただきたいと思います。
川村委員	教育委員として各学校を訪問した際に、ICT教育の現場を視察させてもらったところ、先生方は工夫して端末を活用されており、子ども達も真剣に取り組まれていました。改めて、1人1台端末が整備されて本当に良かったと感じました。 また、埼玉県教育委員会のデータによりますと、「負担や多忙を感じている」という先生が84.9%から88%いるということに対し、「やりがいや満足を感じている」という先生が92%から95%いるということでした。不安を抱きながらも、やりがいや満足感に支えられて、先生方は対応されているということが見て取れます。 吉野川市も同じように、先生方は多忙な中、ICT面でのスキルアップもしていかなければならない状況にあると思います。 現在のICT支援員2名だけでは、2週間に1回ぐらいでしか各校へ訪問ができないようですので、1週間に1回ぐらいのペースで訪問できるよう、また、より一層の効果的なものとするためにもICT支援員を増員していただけたらと思います。
市長	ありがとうございます。 ICT支援員の2名からの増員ということで、新年度予算において教育委員会事務局から要望をいただいております。現在、新年度予算の調整中であるため、明確なお答えはできませんが、私自身もその必要性は感じているところでございますので、期待に応えられるよう、取りまとめていきたいと思っております。
栗原委員	ICT教育を推進するに当たり中長期的な計画が必要だと思います。 現時点では成果や課題の分析はまだできない段階であり、予算面などにおいても不透明な部分が多くある状況であると思いますが、その点は

	どのように考えておられるのでしょうか。
市長	環境面でいえば、1人1台端末を導入し、これを継続していく必要があります。課題としては、機器の更新などがあり、財政状況が厳しい本市にとっては、更新の際にも国の支援があるのかなど不安な部分もあります。これについては、国へ対して県単位で要望していくものと考えております。 教育面については、教育長から説明をお願いします。
教育長	端末を筆箱や鉛筆のように普段から使用できるものとなることを目標としており、併せて教師もスキルアップを図る必要があります。また、使用面でのマナーも合わせて教育する必要があります。
阿部副教育長	教育長から説明させていただいたように、学校におけるスキルアップのための計画がございます。生徒の発達段階に応じて、レベルを上げていくように全ての学年において目標を設定しています。それに向けて教職員も自身のスキルアップをしていくような計画としております。
貞野委員	これからは、ICTを活用できる子ども達を育てていく必要があります、それに向けた環境整備は重要であると考えています。市は厳しい財政状況にあると思いますが、ICT教育の環境整備の推進に協力して欲しいと思います。 また、最近の子ども達は、幼少期からスマートフォンなどを当たり前使用する環境の中で育ってきていることから、支援して欲しいと思います。
市長	委員のおっしゃるとおり、今の子ども達はスマートフォンなどの機器を使いこなせる状況にあるため、できる限りの教育現場での環境整備を推進していくことで支援するようにしたいと思います。
市長	他にご意見等がございましたらお願いいたします。 それでは、ご意見等が尽きたようですので、(2)の「その他」に移りたいと思います。 何かご意見等がございましたら、お願いいたします。
川村委員	各学校訪問をした際に、特別支援員の増員配置が必要と感じました。 社会情勢が複雑になってきていることから、支援が必要な子どもが増えてきているように思います。 より一層の教育の充実のためにも、その点について是非お願いしたいと思います。
阿部副教育長	特別支援員については、現在、各学校で1名程度として16名の支援

員を配置できるようにしております。

委員のおっしゃるとおり、支援が必要な子どもが増加している傾向にあることから、1人でも多くの特別支援員が配置できればと思っております。

教育長

市の財政状況が厳しい中、市独自で特別支援員を現在よりも増員配置することは簡単ではないと考えております。しかし、支援が必要な子ども達が増加していることも事実です。

そのため、市教育委員会としては、県費で増員配置することができないかどうかを検討し、要望しているところでございます。

また、現在の特別支援員についても配置数の全部を充足している状況ではないことから、各学校においても人材を確保できるように努めているところでございます。

市長

他にご意見等がございましたらお願いいたします。

それでは、ご意見がないようですので、以上で本日の議題は全て終了しました。

各委員からいただきましたご要望やご意見につきましては、今後の市政運営において十分に参考させていただきます。

これを持ちまして、今回の総合教育会議を閉じることといたします。

議事進行にご協力を賜り、誠にありがとうございました。